金属加工製品製造業 B社の財務状況

（金額単位：百万円）

（債権放棄前の財務状況）

B／S

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
現預金	100	仕入債務	700
受取債権	1,200	短期借入金	0
棚卸資産	400	割引手形	700
その他流動資産	10	長期借入金	3,600
		その他負債	30
土地	400	負債計	5,030
建物	500		
機械等	1,000	資本金	80
		剰余金	500
有価証券等	2,000	資本計	580
資産計	5,610	負債・資本計	5,610

（所有資産の含み損）

土地	200
建物	200
有価証券	1,800
計	2,200

P／L

科目	金額	比率
売上高	5,000	100.0%
売上原価	3,900	78.0%
売上総利益	1,100	22.0%
一般管理費	1,050	21.0%
営業利益	50	1.0%
営業外収益	10	0.2%
営業外費用	120	2.4%
支払利息	120	2.4%
経常利益	-60	-1.2%
特別利益	0	0.0%
特別損失	0	0.0%
税引前利益	-60	-1.2%
法人税等	0	0.0%
当期利益	-60	-1.2%
減価償却費	130	2.6%

（時価ベースの実質B／S）

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
現預金	100	仕入債務	700
受取債権	1,200	短期借入金	0
棚卸資産	400	割引手形	700
その他流動資産	10	長期借入金	3,600
		その他負債	30
土地	200	負債計	5,030
建物	300		
機械等	1,000	資本金	80
		剰余金	-1,700
有価証券等	200	資本計	-1,620
資産計	3,410	負債・資本計	3,410

（時価評価での保全）
土地200、建物300、
有価証券200 の合計700

借入内訳	残高	シェア	保全
A行	1,600	44.4%	500
B行	1,100	30.6%	200
C行	500	13.9%	0
D信金	300	8.3%	0
E信金	100	2.8%	0
合計	3,600	100%	700

（保全不足の状況）

	保全不足	（割合）
A行	1,100	37.9%
B行	900	31.0%
C行	500	17.2%
D信金	300	10.3%
E信金	100	3.4%
合計	2,900	100%

（清算価値のB／S（保全債権処分後））

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
現預金	100	仕入債務	700
受取債権	450	短期借入金	0
棚卸資産	20	割引手形	0
その他流動資産	10	長期借入金	2,900
		その他負債	30
土地	0	負債計	3,630
建物	0		
機械等	50	資本金	80
		剰余金	-3,080
有価証券等	0	資本計	-3,000
資産計	630	負債・資本計	630

（受取債券1200－割引手形700）×0．9＝450

棚卸資産400×0．05＝20

機械1000×0．05＝50

（上記の減価率は推定値）

土地、建物、有価証券については、担保に提供しており、代物弁済もしくは、売却のうえ弁済

金融機関の回収額は、
630×2900/3630＝503

（債権放棄後、初年度）

B／S

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
現預金	60	仕入債務	170
受取債権	350	短期借入金	50
棚卸資産	250	割引手形	50
その他流動資産	10	長期借入金	1,890
		その他負債	30
土地	50	負債計	2,190
建物	100		
機械等	1,050	資本金	10
		剰余金	−330
有価証券等	0	資本計	−320
資産計	1,870	負債・資本計	1,870

P／L

科目	金額	比率	
売上高	3,000	100.0%	
売上原価	2,100	70.0%	
売上総利益	900	30.0%	
一般管理費	850	28.3%	
営業利益	50	1.7%	
営業外収益	0	0.0%	
営業外費用	60	2.0%	
支払利息	60	2.0%	
経常利益	−10	−0.3%	①
特別利益	1,500	50.0%	
特別損失	2,400	80.0%	
税引前利益	−910	−30.3%	
法人税等	0	0.0%	
当期利益	−910	−30.3%	
減価償却費	100	3.3%	②
設備投資額	30	1.0%	③

【主な処理策】（金額は時価）
・保全不足額 29億円うち、13億円を債権放棄
（→特別利益13億円）
・マレーシア現法（有価証券）を清算（2億円、特損18億円）、国内工場を一部売却（土地1．5億円、建物2億円、特損4億円）、機械を廃棄（特損2億円）
（→特別損失 24億円計上）
（→資産売却収入5．5億円により、長期借入返済3億円、設備投資2．5億円）
・社長の資産を処分し、1億円借入返済に充当（求償権は放棄）
・既存株式を100%減資し、取引先や従業員が10百万円出資
（→資本金80百万円 → 0円 → 10百万円）
→長期借入17．1億円減少
・不採算製品から撤退、高採算製品に特化
（→売上50億円→30億円に減少。）
（→売上原価率78%→70%に低減。）

返済財源（①＋②－③）…　60

※繰越損失があるため、法人税等は見込まず、経常利益＝税引後利益として計算

○債権放棄の内訳

	放棄額	（割合）
A行	493	37.9%
B行	403	31.0%
C行	224	17.2%
D信金	134	10.3%
E信金	44	3.4%
合計	1,300	100%

保全不足額のシェアで按分

2年目以降は、設備投資による生産力の増大により、売上高が向上。以下のとおりの経常利益となる見込

	【経常利益】	【返済財源】
1年目	▲10	60
2年目	100	170
3年目	100	170
4年目	100	170
5年目	100	170

（再建計画終了時（5年後）のB／S）

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
現預金	70	仕入債務	230
受取債権	400	短期借入金	50
棚卸資産	250	割引手形	50
その他流動資産	10	長期借入金	1,210
土地	50	その他負債	30
建物	100	負債計	1,570
機械等	770	資本金	10
		剰余金	70
有価証券等	0	資本計	80
資産計	1,650	負債・資本計	1,650

初年度長期借入金1,890－返済財源170×4年＝1,210

初年度機械等1,050－（減価償却費100－設備投資額30）×4年＝770

初年度剰余金▲330＋税引後利益（＝経常利益）100×4年＝70（債務超過は5年目に解消）

※繰越損失があるため、法人税等は見込まず、経常利益＝税引後利益として計算

（民事再生の場合の予想、初年度 ～金属加工製品製造 B社）

B／S

資産		負債	
科目	金額	科目	金額
現預金	50	仕入債務	170
受取債権	180	短期借入金	50
棚卸資産	140	割引手形	50
その他流動資産	10	長期借入金	950
		その他負債	30
土地	50	負債計	1,250
建物	100		
機械等	800	資本金	100
		剰余金	−20
有価証券等	0	資本計	80
資産計	1,330	負債・資本計	1,330

【主な処理策】（金額は時価）
・保全不足額 29億円うち、19億円を債権放棄
（→特別利益19億円）
・マレーシア現法（有価証券）を清算（2億円、特損18億円）、国内工場を一部売却（土地1．5億円、建物2億円、特損4億円）、機械を廃棄（特損2億円）
（→特別損失24億円計上）
（→資産売却収入5．5億円により長期借入返済5．5億円）
・社長の資産を処分し、1億円借入返済に充当（求償権は放棄）
・既存株式を100%減資。スポンサーが100百万円を出資
（→資本金80百万円→0円→100百万円）
→長期借入26．5億円減少
・不採算製品から撤退、高採算製品に特化するも、いくつかの取引先とは事業継続困難であり、売上は大幅に縮小
・事業規模縮小に伴い、従業員数200人→100人に削減
（→売上50億円→20億円に減少。）
（→売上原価率78%→72%に低減。）

P／L

科目	金額	比率	
売上高	2,000	100.0%	
売上原価	1,440	72.0%	
売上総利益	560	28.0%	
一般管理費	550	27.5%	
営業利益	10	0.5%	
営業外収益	0	0.0%	
営業外費用	30	1.5%	
支払利息	30	1.5%	
経常利益	−20	−1.0%	①
特別利益	1,900	95.0%	
特別損失	2,400	120.0%	
税引前利益	−520	−26.0%	
法人税等	0	0.0%	
当期利益	−520	−26.0%	
減価償却費	60	3.0%	②
設備投資額	20	1.0%	③

返済財源（①＋②－③）…　20

※繰越損失があるため、法人税等は見込まず、経常利益＝税引後利益として計算

○債権放棄の内訳

	放棄額	（割合）
A行	720	37.9%
B行	589	31.0%
C行	327	17.2%
D信金	196	10.3%
E信金	65	3.4%
合計	1,900	100%

保全不足額のシェアで按分